

TGM

合わせ切断機導入 堅調

サイト拡充し動画でも紹介

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長 03・6261・1260)は、イタリア・ポッテロ社製の合わせガラス切断機「548LAM」を販売している。ポッテロ社のラインアップの中でもベストセラー機で、改良してシリーズ最高の生産性と省人化を実現。日本市場でも堅調に販売を伸ばしている。革新的なヒータリングシステムの採用で消費電力を大幅に削減し、サイクルタイムを短縮した。新自動回転システム(NC制御)の採用でガラスの回転が正確でスピーディーになり、オペレーターの負担が大きく軽減する。ポッテロ社の「520LAME」は「548LAM」よりもオペレーターのハンドリングが増えるものの、性能と価格のバランスが良く、特に小中規模の生産量の客に好評という。生産性、省人化のニーズに合わせて、最適な製品やレイアウトを提案する。同社はコロナ禍で対面での説明が難しい中、ウェブサイトを拡充し、各設備の動画や詳細説明を掲載。マガジンサイト「TGM way」を運営し、海外のガラス加工業界の情報を毎週投稿するなど情報発信に努めている。

シリーズ最高の生産性と省人化

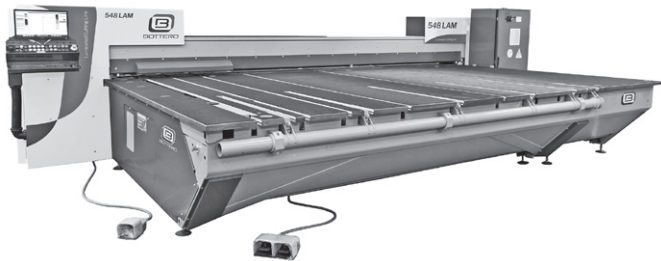
合わせガラス切断機「548LAM」は、シリーズ最高の生産性と省人化を実現した。従来の合わせガラス切断機からの改善点は①革新的なヒータリングシステムの採用で、大幅な消費電力の削減、サイクルタイムの

短縮が可能②新クラビングシステムの採用で、ガラスへの均一かつスムーズな圧力分散が可能となり、ガラスへの過度なストレスの削減が可能③新自動回転システムの採用で、正確でスピーディーなガラスのポジショニングが可能④自動20ミ耳取り、スクラップサイクルの採用で、完全自動の

製造ラインに自動転送すること、現場作業を最小限にする合わせガラス製造ラインも提供する。ポッテロ社はガラス切

耳取り、スクラップサイクルが可能になった。ポッテロ社はガラス加工設備のワンストップサービスを目指し、切断機を中心に、面取り機、NC変形加工機の他、合わせガラス製造設備、自動倉庫システムなど、さまざまな加工設備を提供する。年間の設備販売台数は約1000台で、うち切断機が半分の約500台を占め、切断機の販売で世界ナンバーワンを誇る。国内でも400台以上の設備の販売実績を持つ。

イオニアとして①切断機にレーザーマーキング機能を装備し、切断とレーザーマーク打ちを同時に切断工程で実現②切断機にラベル貼付機能を装備することで、切断とラベル貼りを切断工程で実現③切断ダブルブリッジの採用で切断効率が大幅に向上④合わせガラスの異形切断機能を開発といった他社に先駆けた新しい技術を展開している。



イタリア・ポッテロ社の合わせガラス切断機「548LAM」



TGMのウェブサイト動画を交えて詳しく紹介

切断機のパ